

書式：ピリオドとカンマ

- ・ 目録7版でも使い方が不統一だった
- ・ 「および」は「. 」、「または」は「, 」を用いることを基本とする。

例：

「本州（PV. WV: 広島, 山口）」は
「本州では旅鳥、広島と山口では越冬。」

「本州（PV, WV: 広島, 山口）」は
「本州では旅鳥または冬鳥として広島と山口で記録されている」

ステータスの掲載順

- ・当該の地域における代表的なステータスを最初に配列することにした

例：マガモ

目録7版 本州 (RB: 岩手, 栃木, 長野, 山梨, 滋賀, 京都, 山口. CB: 山形. **WV**)

目録8版 本州 (**WV**. RB: 岩手, 栃木, 長野, 山梨, 滋賀, 京都, 山口. CB: 山形.)

県単位の記録を反映したステータスに

- ・ローカルな渡来ステータスの情報は、疑義がないかぎり、地域協力者からのコメントをそのまま反映した。

例：キリアイの本州のステータス

目録7版 本州 (PV)

目録8版 本州 (PV. IV: 鳥取, AV: 長野)

他にも該当する県が反映されていない可能性

→パブコメでコメントしてほしい

IVとAV

- ・調査票依頼時点では定義が不明確だった

IV: 毎年ではないがある程度定期的に記録される鳥

AV: 偶発的にしか記録されない鳥。1～数例しか記録のない鳥

- ・検討にあたり、記録単位（県・島）あたりで以下のようにして整理した

IV: 4例以上の記録があるもの

AV: 3例以下の記録しかないもの

例：

茨城県におけるサカツラガンの記録があるためIVに追加してほしい

→1例のみなのでAVとして追加する。

CBとFB

CB: 不定期に繁殖が記録されている鳥

FB: 以前RBまたはMBであったが、現在繁殖していないと思われる鳥

最後に繁殖が確認されているのが2009年以前であっても、一時的な繁殖しか記録されていないものはCBのままにした

例：滋賀県のツバメチドリは1988年の1度の記録しかないのでFBではなくCBとする

記録県が不明な古い記録について

- ・古い記録で当該地域で記録があるものは確からしいものの、その該当する県が不明なもの

例：九州のシロアジサシ

目録7版 九州 (AV)

目録8版 そのまま

ただし、注釈に「九州の記録は記録年、場所不明」と記載する。

分類の変化：オジロビタキ問題を例に

- ニシオジロビタキは、7版までは検討種であり、これまではオジロビタキと混同されて記録されていた可能性が高い
- 8版では両種ともに掲載種となる。古いオジロビタキの記録は削除せず、新たに記録されたニシオジロビタキの記録のみを反映することにした。
- 各地域からの追加コメントを求む
同様の例にメボソムシクイ上種などがある

海鳥の記録の扱い

- 7版までは洋上の記録が反映されていなかった
- 各県の記録は陸から見えるものや漂着（内陸への迷行）が反映されることになる



オホーツク海

日本海北部

太平洋北日本沖

日本海南部

太平洋本州中部沖

伊豆諸島沖

太平洋南日本沖

東シナ海

小笠原諸島沖

南西諸島沖